

北欧とパンと時々トムテ
 8AWK1144
 青山 巧
 2010-06-08

HOKUO

- 1988年に北海道札幌市西区に本社設立。
- スカンジナビア諸国の(左に十字架の寄った)国旗が風になびくようなマークとHOKUOというロゴを用いている。
- 小田急グループから関東圏での営業権利を取得し店舗拡大。

まさかのHOKUOとトムテ(笑)

- HOKUOのパンの袋には・・・

『トムテという小さな妖精がね、パンを美味しく焼くのに不思議な秘伝の力を使っているんだよ!! 朝の食卓を楽しみにしてね。北欧の子どもたちはこのトムテのパンの秘訣をこっそり教えてくれるんだよ。そしてHOKUOのパンのある札幌はトムテの国にすごくよく似ているんだ。』

北欧館パン博物館





主な展示物

- 古代エジプトで王様と一緒に埋葬されたパン職人の人形。
- パンの歴史を紹介したレプリカ。
- 北欧で実際に使われていたパン作りの道具
- バイキング船のレプリカ。

• トムテの謎・・・


新作★お試しあれ♪

• もちもちプリン大福



サロマ産かぼちゃパウダーで色づけたもちもちの生地！その中には香り高いミルクカスタードとメイプルクリームを絞りました。プリン好きな方は是非お試しあれ♪

• 香味マヨチキンピザ



柔らかな白生地に、ジューシーなロースチキンとスライス玉ねぎをのせました。香味玉ねぎソースとマヨネーズの組み合わせが食欲をそそります。お腹も満足のおススメピザです。

北欧の動物
ヘラジカ

ヘラジカとは

- 哺乳綱偶蹄目シカ科ヘラジカ属に分類されるシカ。本種のみでヘラジカ属を形成する。別名**オオシカ**。
- 中国北東部、アメリカ合衆国北部、エストニア、カナダ、スウェーデン、ノルウェー、フィンランド、ラトビア、リトアニア、ロシアに生息
- 体長240-310cm・肩高140-230cm・体重200-825kg (世界最大のシカ)

生態

- 針葉樹林と針葉樹と落葉樹の混合樹林に生息
- 夏は単独もしくは数頭の群れで生活するが、冬になると10頭前後の群れを形成する。天敵としてはオオカミ、クズリ、トラ、ヒグマ等が挙げられる。攻撃は前足や後ろ足を使った強力な蹴りで、角を使うことはあまりない
- 食性は草食性で、木の葉や樹皮、地面に落ちた種実類、水草等を食べる。代表例としてはヤナギやカバノキ
- 水場を好み、夏にはよく水場に来て、水中の水草を食べたり、泳いで体に付いた寄生虫を落としたりする

人間との関係1

- スウェーデンのエーランド島南部のアルピー付近では、紀元前6000年代頃の木の小屋の遺構からヘラジカの角が出土している。北ヨーロッパでは、石器時代から19世紀まで地面に深い穴を掘ってヘラジカを追い落とす猟法が用いられていた。

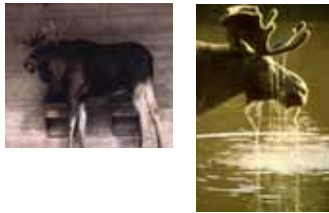
人間との関係2

- ヘラジカは道路に飛び出て交通事故によって命を落とすことが多らしく人身事故につながる事も多い。あの巨大な体が運転席に飛んでくると、エアバックすら意味をなさない
- スカンジナビアとドイツでは自動車開発時にヘラジカとの衝突を想定してのヘラジカテストを行っている

人間との関係3

- スウェーデンとノルウェーでは「森の王」と呼ばれるヘラジカが国の動物とされている。ノルウェーでは自治体の紋章にもヘラジカが描かれることが多い。
- デンマークの天文学者ティコ・ブラーエはヘラジカを飼っていたが、そのヘラジカがあるとき、宴席でビールを飲んで酔っぱらい、階段から転げ落ちて足を折り死んでしまった

ヘラジカ雄



ヘラジカ雌

